

# 私たち、夢に向かってまい進中!

2006年に始まり、開始以来10年めの節目を迎えた「NRI学生小論文コンテスト」では、これまでたくさんの受賞者を生み出してきました。本コンテストの受賞者は、OB・OGとなってもNRIや受賞者同士のつながりがあり、今回の「NRI学生小論文コンテスト2015」の表彰式にも出席し、後輩の受賞を祝いました。表彰式後はOB・OG懇親会が開催され、近況を報告し合って交流を深めました。そこで、この誌面で受賞OB・OGの近況をご紹介します!



## IT会社を経営しています

宮川 耕 さん | 第1回(2006年)【大学生の部】優秀賞受賞  
論文タイトル: ユビキタスネットワーク社会が要求するルールの変更とその功罪  
応募当時: 早稲田大学商学部4年

第1回めのコンテストの応募数は約130、第10回めの今回が約2600。この10年で応募数は20倍になり、それだけ世の中で認知されてきたということで、10年継続することの意味を感じます。私は受賞時からIT系の会社を経営し、変化の波の激しいIT業界でチャンスの波を捉えてこの10年で6社ほど経営してきました。数社の売却・譲渡を経て、今は適正規模で1社を経営しながら、個人としてはマンガの原作の仕事なども手掛けています。



## メディアデザインの仕事の一環でラジオパーソナリティも

生田 和徳 さん | 第1回(2006年)【大学生の部】優秀賞受賞  
論文タイトル: メディア・リテラシー——ユビキタスネット時代に新たな価値を生み出す知恵  
応募当時: 中京大学社会学部3年

地元の長野県を拠点に、地域密着で仕事をしています。映像、写真、記事の執筆、編集、デザイン等の領域をまとめて“メディアデザイン”と名付け、メディアデザイナーとして活動しています。仕事の中心は長野県松本市に開局したコミュニティFM、『FMまつもと』でのラジオパーソナリティと制作で、その他にケーブルテレビや雑誌の記者、また県内の放送部のある学校で放送に関する外部講師の活動も続けています。



## 物語作家として本を出版

久米 絵美里 さん(旧姓: 蜂屋) | 第4回(2009年)【大学生の部】特別審査委員賞受賞  
論文タイトル: Skypeが描く世界語会話教室——非透明人間と不透明人間の協働実現を目指して  
応募当時: 慶應義塾大学法学部3年

2014年に朝日学生新聞社児童文学賞をいただき、現在は『朝日小学生新聞』にて連載、出版の機会をいただきつつ、さまざまな物語を執筆中です。伝えることを意識すること、文献や経験から得た知識を再構築する意義を学ぶことができたのは、本コンテストあってこそで、今でもとても感謝しております。



『言葉屋 言箱と言珠のひみつ』  
発行: 朝日学生新聞社  
(2014年11月)  
朝日学生新聞社児童文学賞  
第5回(2014年)受賞作